



開発文書の改善によるソフトウェア品質向上
ソフトウェア品質向上のための開発文書の品質評価

技術分野分類 60050：ソフトウェアドキュメンテーション
技術キーワード 仕様記述・検証
産業分類 G-39：情報サービス業

内 容	概 要	ソフトウェア開発文書の品質を高めるために、文書の品質を評価し、評価の結果を表すことが求められる。そこで、品質を表現するルールを与え、開発文書 を評価する。さらに、その評価結果をわかりやすいように提示する。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	自然言語処理技術を用いて文書の品質を測る方法があるが、語句や係り受けな どの一部に限られる。他方、内容や構造に踏み込んだ品質を評価するには、人 手による方法が欠かせないが、評価者によるばらつきや、評価表現の揺れが発 生する。そこで、人手による評価における問題を解決するために、人手による 評価の表現に一定の規則を課すことで、評価のばらつきや揺れを低く抑える。
	本技術の 有用性	人手による品質の評価方法に一定の規則を与えることで、ばらつきや揺れを少 なくできる。さらに、評価の指標を立てることで、品質を高めるための手段を 検討するとき、向上させたい特性を絞って取り組むことができる。
関連情報 (図・表・写真等)		<p>図1 各品質特性の指標件数の割合</p> <p>図2 品質特性および品質属性ごとの指標件数分布</p> <p>診断した結果として提示する文書診 断書の例を左図に示す。 診断した結果を計測し、項目ごとに分 類して、文書品質の傾向を把握する。 この結果を基に、品質を高めるための 方法を考えたり、向上する様子を把握 したりできる。</p>
適用可能製品		組込み系のソフトウェア開発や情報系のソフトウェア開発などを中心に、分野を 限定せずに、ソフトウェア・システム開発に関わる文書全般に適用できる。
技術 シース 所有者	氏名 所属・役職	藤田 悠 電子情報工学科 准教授
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	地域共同テクノセンター 026-295-7117 / 026-295-7124 nrtc71@nagano-nct.ac.jp

■知的財産 なし
■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2018年11月16日